

第2回運営委員会報告

庶務幹事 菅 滋正、坂井 信彦

東京大学工学部6号館大会議室において、1993年9月1日13時30分より開かれた第2回運営委員会には 菊田、坂井、菅、前田、辻、難波、塩谷、下村、松井、石川、渡辺、尾嶋、合志、のほかオブザーバーとして 植木、北村、大野、中井、鈴木、三木、の方々が参加された。

前回議事録承認に引き続いてつぎの報告があった。

会長：現状報告

大型放射光計画検討委，ビームライン検討委への委員推薦結果
(石黒、勝部、菊田) (石川、佐藤(繁)、下村、菅)
財政等
利用研究課題として現在33サブグループが登録済み。

各幹事報告

庶務：新会員申込について

会員勧誘の広報活動：各種学会誌に入会のおさそいを掲載。
会員数が定常状態になった頃会員名簿を発行する。
会員名簿記載内容の確認等

編集：広報誌名称，表紙デザイン，本年度の発行予定

部数 1500部

広報誌配布先確認

行事：10月8日理研において，懇談会，共同チーム，および高輝度光科学研究センター共催でSPRING-8の各種放射光源に関する講習会を開催予定
各SGより1名の参加を求める。

利用：SG旅費援助のフォーマットに付いて

ユーティリティSGの立ち上げを急ぎたい。

またつぎの審議が行われた。

1. 新会員の承認

入会申込者のリストを回覧後，全員の入会が承認された。

9月1日現在会員数715名

2. ビームライン検討委員会への要望に付いて

菅ビームライン検討委員会委員長より委員会の位置づけ，役割，審議状況，ビームライン計画趣意書，同提案書の概略の説明があり，ついで植木オブザーバーより補足説明があった。

ビームライン検討委への本懇談会としての要望について活発な意見交換があった。

1. ビームラインに実験ステーションを併設できる可能性の検討

2. 提案者が十分な時間的ゆとりを持って計画を推進できる配慮

3. できるだけ多くのSGの意欲的参加を支援できる形

3. 次年度運営委員選挙管理委員会の構成

3名の委員の指名は会長に一任する。

(注：その後雨宮慶幸、石川哲也、大柳宏之に決まった)

4. 共同利用について検討する運営WGをスタートさせる必要性が議論された。

5. その他

運営委員は会員の選挙で選ばれているので委員として出席できない場合も代理出席は認めず，文書により意見をいただくこととする。

外国人会員の入会について

なお懇談会の運営等についてのご意見がございましたら会長，幹事，運営委員までいつでもお寄せください。また広報誌”光彩”には”会員の声”欄もごぞいます。